

教育相談だより

4号 発行責任者

大塚晴美

1年部 大塚 晴美

2年部 野村 先生

3年部 岩武 先生

養護教諭 木下 先生

教育相談だより4号です。今月は高校総体に始まり、体育大会により締めくくられる、謂わば『体育の月』でしたね。

日頃から体を鍛えている皆さんには『主役になれる時』、それなりに体力作りを意識している人にとっては『コミュニケーションの場』として、楽しい思い出作りができたでしょうか……。私のように、それなりにやらないといけないことは自分の体が1番よくわかっていくタイプの人には、『みんなの笑顔を見られてうれしい日』でした。『他人を見て、己を知る』ことの大切さを、行事のたびに思います。今一度、集団の中の自分のポジションを確認してみませんか？

スクールカウンセラーは木曜日午後に来校しています。

スクールカウンセラーの先生は、
毎週 **木曜日 12:30~16:30** に
来校しています。

※変更がある場合は連絡します。

来週は考査中になりますので、1週お休みになります。次回の来校は2週間後です。希望のある人は、右の要領で予約に来てください。

スクールカウンセラー

7月の予定

7/12・19・25

12:30~16:30

ちなみに、この別府青山高校の中で、1番相談室に通い、安達先生にお話を聞いていただいている人がいます。その人とは……私(大塚)です。

桜の記憶 先月、安達先生より『桜の木の思い出』という文章をいただきました。そして、私(大塚)が、思うところの『桜』について紙面の許す限り、綴ってみようと思います(言うなれば、つぶやきです)。坂口安吾の『桜の森の満開の下』という作品をご存じですか？この作品は梶井基次郎の『桜の樹の下には』がベースになっていると言われています。美しい満開の桜の下で、人はなぜ桜の花に心を奪われ、そしてなぜ不安になるのでしょうか……(次回に続く)

スクールカウンセラーの先生への カウンセリング予約の方法

- ① 担任の先生か教育相談係・保健係の先生に希望の意志を伝える。
※予約カードは大塚まで
- ② カウンセリング予定時間を聞く。
※大塚より個人に連絡します。

『教育相談だより』右側のページは、安達先生のコーナーです。先生のお人柄のわかる優しい文章に毎回、ほっとさせられますね。

ぼくが ここに

まど・みちお

ぼくが ここに いるとき

ほかの どんなものも

ぼくに かさなって

ここに いることは できない

もしも ゾウが ここに いるならば

そのゾウだけ

ママが いるならば

その一つぶの ママだけ

しか ここに いることは できない

ああ このちきゅうの うえでは

こんなに だいに

まもられているのだ

どんなものが どんなところに

いるときも

その「いること」こそが

なににも まして

すばらしいこと として

すべて現実のものは、ある一定の空間を占めています。占めない限り存在し得ません。存在するものはすべてこの世に「いること」が保障されているということです。

これを命あるものに敷衍すれば、心のはたらきとしての考え、感情、意志、興味、好き嫌い等、頭の中に思い浮かぶすべての「思うこと」の存在が保障されていることになります。

一粒のママが、もしその「いること」を否定されようとすれば全身で抵抗するように、誰でも自由に「思うこと」を否定されれば抵抗するでしょう。今の世の中で他人が「思うこと」を禁止する人はいないでしょうが、それと似たことはあるかも知れません。頭ごなしに納得できないことをいわれ続けること、理不尽なことを強制されること、いくら自分の考えを話しても理解してもらえないこと、相手の固定観念でいつも決めつけられること等々。

自分の存在を否定されるような場の中では、いわゆる違和感のようなものを感じます。このような時、耐えることも必要ですがそれも程度の問題です。我慢し続けることで心のエネルギーを減らしていくことになっていきます。自分の思いを外に出すことによって、自分の存在を示すことが大切です。

一粒のママが全存在をかけて自分の空間を主張するように、自分の「思うこと」に自信を持ち、自分の存在に勇気を持ちましょう。